

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 44

千葉県立浦安南高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

基本的な生活習慣が確立しており、中学校生活全般にわたり、自ら考え、意欲的に取り組んできた生徒であること。また、入学後も、さらに努力する意志のあること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査（面接）	評価者3名の個人面接 検査時間：5分
(4) 志願理由書	志願者の直筆による「志願の理由」及び「自己アピール」

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書〔320点満点〕

アの数値に、エ、オ、カについて加点（上限50点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=2$ を乗じた数値で評価する。 第3学年に評定1または未評価の教科がある、あるいは評定の全学年の合計値が40未満である場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年の欠席日数が15日以上、あるいは3年間の欠席日数の合計が40日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つも無い場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録	(ア) 生徒会本部役員をした生徒 (イ) 生徒会活動、学校行事で特に積極的に取り組んだと認められる記述がある生徒 以上の2点について、加点（上限15点）する。
オ 部活動の記録	(ア) 3年間同一の部活動に所属し、活動した場合 (イ) 部長または副部長をした生徒 以上の2点について、加点（上限15点）する。 特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

カ 特記事項	実用技能英語検定3級以上・日本漢字能力検定3級以上・実用数学技能検定3級以上は、それぞれ加点する。 福祉・ボランティア活動において、継続的に取り組んでいる者には加点する。 特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。
キ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査〔90点満点〕

面接

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aaa～ccc）で得点化する。評価cが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 応答の内容	質問をよく理解し、自分の言葉で表現できている。また、意欲や真摯さが感じられる。
イ 対応の言葉遣い・態度	対応が的確で適切な言葉遣いや真摯な態度で受検している。
ウ 身だしなみ	服装や頭髪等が面接にふさわしいものである。

(4) 志願理由書

評価項目	評価基準
ア 志願理由	本校を志願する理由を確認し、総合的に判定する際の参考とする。
イ 自己アピール	特に優れた内容等を確認し、総合的に判定する際の参考とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

〈総得点の満点の内訳〉

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K=2）	加点	面接	
500点	270点	50点	90点	910点

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。